

日本小児科学会新生児委員会報告

2019年度研修開始専攻医プログラムに関するアンケート調査

日本小児科学会新生児委員会担当理事¹⁾、同 委員長²⁾、同 副委員長³⁾、同 委員⁴⁾、同 オブザーバー⁵⁾

水野 克己¹⁾ 日下 隆²⁾ 河井 昌彦³⁾ 荒堀 仁美⁴⁾ 大西 聡⁴⁾
高柳 俊光⁴⁾ 東海林宏道⁴⁾ 長屋 建⁴⁾ 長谷川久弥⁴⁾ 松本 敦⁴⁾
宮沢 篤生⁴⁾ 森岡 一朗⁴⁾ 山田 恭聖⁴⁾ 和田 友香⁴⁾ 高橋 尚人¹⁾
和田 和子¹⁾ 早川 昌弘⁵⁾

要 旨

【背景と目的】各基幹施設において、どの程度、専攻医のNICU研修が行われているのかを把握し、今後の研修プログラムにおける新生児研修に関する方策を検討すること

【対象と方法】専攻医研修プログラムを有する基幹施設179施設の小児科専門研修プログラム責任者にWEBサイト(PC, スマートフォン, タブレット)から回答してもらった。調査期間は2019年8月20日～10月31日とした。

【結果】157施設から回答があった(87.7%)。2019年度のプログラムに「NICUにおける研修」等、記載されている施設は126、記載がない施設は6(無回答25施設)であり、この間に回答した施設のほとんどはNICUにおける研修がプログラムに明記されていた。ほとんどの基幹施設が自施設でNICU研修を行っており、4～6か月間の研修で40～59症例を経験できる施設が多かった。指導は周産期専門医が行う施設が大多数であった。

【結論】すでにほとんどの基幹施設ではNICU研修に取り組んでいた。プログラムに記載がない施設もあったが、今後、明記する予定と回答があった。研修期間・経験する症例数にはばらつきがあるが、6か月間の研修が望ましいと答えた施設が多く、実際に4～6か月と7～12か月を加えると89施設となり、6か月のNICU研修をプログラムに明記することが新生児研修の標準化につながると考えられた。

はじめに

小児科専攻医にとっての新生児研修は、1)疾病を有する新生児を適切に診断・治療し、必要に応じて専門医に紹介する診療能力を身につけること、2)新生児医療を経験することで育児支援につながるバランスの取れた小児医療を実践する能力を身につけること、という二つの視点から重要である。現在、小児科学会でも小児科専攻医研修の中で、NICU・新生児室研修を3～6か月間程度、研修プログラムに組み入れる方向で検討されている。現状でどの程度の基幹施設プログラムに記載されているのかを把握するために今回アンケート調査を行った。

目 的

各基幹施設においてどの程度、専攻医のNICU研修が行われているのかを把握し、今後の方策を検討すること。

対象と方法

対象：専攻医研修プログラムを有する基幹施設179

施設の小児科専門研修プログラム責任者。

方法：本アンケート調査に関する依頼用紙を責任者に郵送した。依頼用紙にはこの調査に関するURLとQRコードが張り付けられており、そこからWEBサイト(PC, スマートフォン, タブレット)に入って回答してもらった。調査期間は2019年8月20日～10月31日とした。

結 果

179施設のうち157施設(87.7%)からWEBサイトに回答いただいた。以下、表に示すアンケート内容の質問に対する回答結果を示す。

問1：複数回答。新生児蘇生法講習の受講に関する質問であるが、157施設のうち80施設から回答があり、うち70施設は専攻医全員が、66施設が希望者は受講していた。行っていない施設は7施設であった。

問2：131施設から回答があり、69施設が総合周産期センター、62施設が地域周産期センターであった。

問3：基幹施設におけるNICU病床数は9床が最も多く35施設であった。ついで6施設以下が30施設、12床が23施設であった。

表

アンケート内容	
問1: 新生児蘇生法講習会に関し, 対象者を以下より選択ください. () 専攻医全員, () 希望者, () 行っていない, () その他:	
問2: 施設の形態はどれですか? (2019年4月1日現在) () 総合周産期母子医療センター, () 地域周産期母子医療センター, () その他	
問3: NICU (保険認可の病床に限る) と GCU の病床数を教えてください. (2019年4月1日現在) NICU () 床, GCU () 床	
問4: 分娩数を教えてください. (2018年1月1日~2018年12月31日) () 分娩なし, () 500件未満, () 500~999件, () 1,000~1,499件, () 1,500~1,999件, () 2,000件以上	
問5: NICU・GCU 入院数を教えてください. (2018年1月1日~2018年12月31日) () 0件 (NICU・GCUなし), () 200件未満, () 200~399件, () 400~699件, () 700~999件, () 1,000件以上	
問6: 貴施設におけるプログラム (2019年度) の内容に「NICUにおける研修」等, 記載されていますか? () はい, () いいえ	
問7: 専攻医がNICUを (関連施設含めて) 研修するプログラム内容をお持ちですか (プログラムに「NICUにおける研修」等の記載はないが, 実際にはNICUを研修している場合は「はい」とお答えください)? () はい, () いいえ	
問8: 問7で「はい」の場合, その内容をお示しください. 対象: () 全員, () 希望者のみ 研修施設: () 自施設, () 連携施設 研修期間: 約 () か月 経験する症例数: 約 () 例 指導は周産期専門医が行っていますか: () はい, () いいえ 分娩立ち会いはありますか: () はい, () いいえ	
問9: 望ましいNICU研修期間はどれくらいとお考えでしょうか: () か月	
問10: 問7で「いいえ」の場合, 今後, NICUにおける研修を考えておられますか? () はい, () いいえ	
問3にてNICU・GCU (0床) と答えた先生は以下, 問11から13も合わせてお答えください	
問11: 専攻医は正常新生児室の研修を行っていますか?: () はい, () いいえ	
問12: 現在のプログラムに記載されている関連施設でNICU研修が可能な施設はありますか? () はい, () いいえ	
問13: 問12で「はい」の場合, 年間何人まで研修可能ですか?: () 人	

問4: 基幹施設における年間分娩数は500~999が最も多く56施設, ついで499以下が49施設であった. 年間分娩数が1,000以上の施設は25施設であった.

問5: 2018年のNICU・GCU入院数は200~399が59施設で最も多く, ついで200未満が36施設であった.

問6: 基幹施設におけるプログラム (2019年度) の内容に「NICUにおける研修」等, 記載されているかに対しては132施設から回答があり, 126施設で記載ありと回答があった (図1).

問7: 専攻医がNICUを (関連施設含めて) 研修するプログラム内容を持っているかという質問に対して, 118施設から回答があり, 1施設を除いて「あり」と回答があった.

問8: 問7で「はい」と答えた126施設のうち123施設が「全員」で7施設が「希望者のみ」であった (問7で回答がなかった施設からもこの間に回答があった

ため数が一致しない). 研修施設は112施設が「自施設», 20施設が「連携施設」であった. NICU研修期間は4~6か月が58施設と最も多く, ついで7~12か月が31施設, 3か月以下が27施設であった. 12か月以上と回答した施設も6施設あった (図2). 研修期間中に経験する症例数は40~59症例が最も多く46施設, ついで20~39症例が29施設であった. 100症例を超える施設も35施設あった (図3). 指導は周産期専門医が行っている施設が121施設であり, それ以外と答えた施設は9施設のみであった. 分娩立ち会いは128施設で経験させており, 立ち会いなしと答えたのは1施設のみであった.

問9: 望ましいNICU研修期間については6か月と回答した施設が47施設で最も多く, ついで3~6か月が32施設であった. 1年以上が望ましいと回答した施設も25施設あった (図4).

問10: 問7で「いいえ」と答えた5施設中4施設は

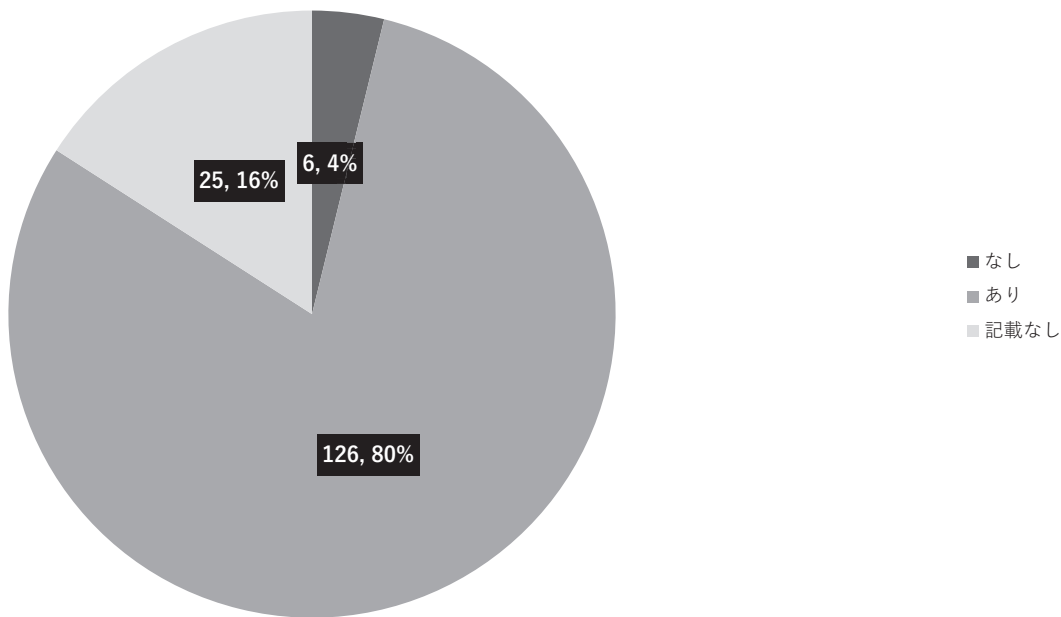


図1 「NICUにおける研修」等の記載の有無

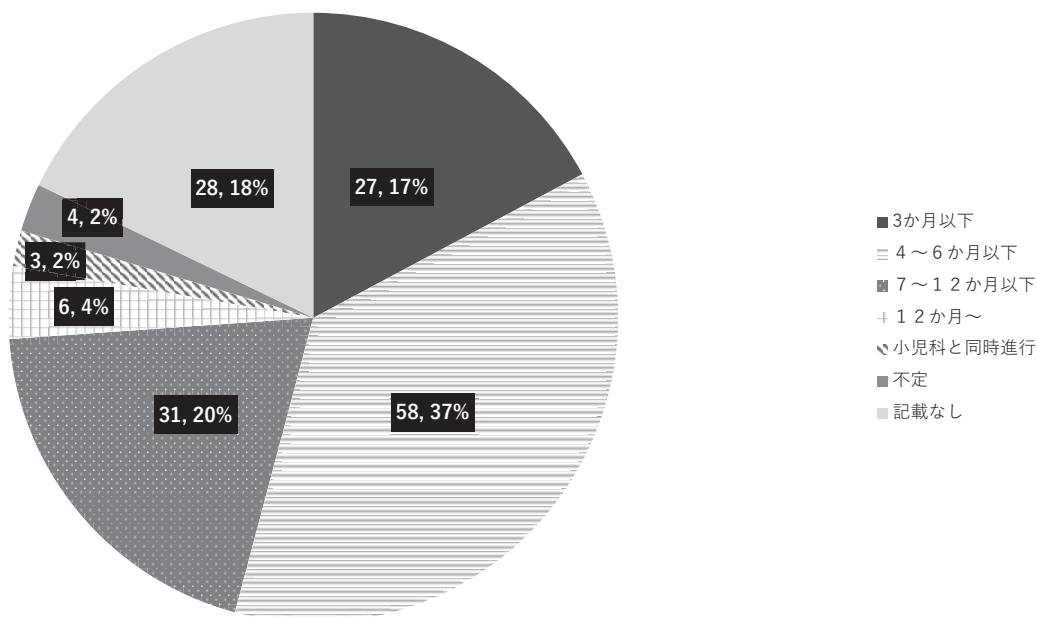


図2 NICU 研修期間

今後、NICUにおける研修を考えていると回答し、考えていないと答えた施設は1施設のみであった。

問3にてNICU・GCU(0床)と答えた施設

5施設とも専攻医は正常新生児室の研修を行っており、また現在のプログラムに記載されている関連施設でNICU研修が可能な施設があると答えた。年間で対応できる人数は1名、2名、2~3名、10名、施設により異なる、という回答であった。

考 察

新生児蘇生法講習会を含めて新生児研修は専攻医のほとんどが適切に受けていると考えられる。ただし、NICU研修がプログラムに明記されていない施設や分娩立ち合いを経験できない施設もあるため最短でも3か月のNICU研修をプログラムに記載するようお願いしたい。NICU研修期間ならびに経験する症例数にはかなり幅があり、どの基幹施設で研修するかによって違いがあるようだ。ある程度、新生児研修の標

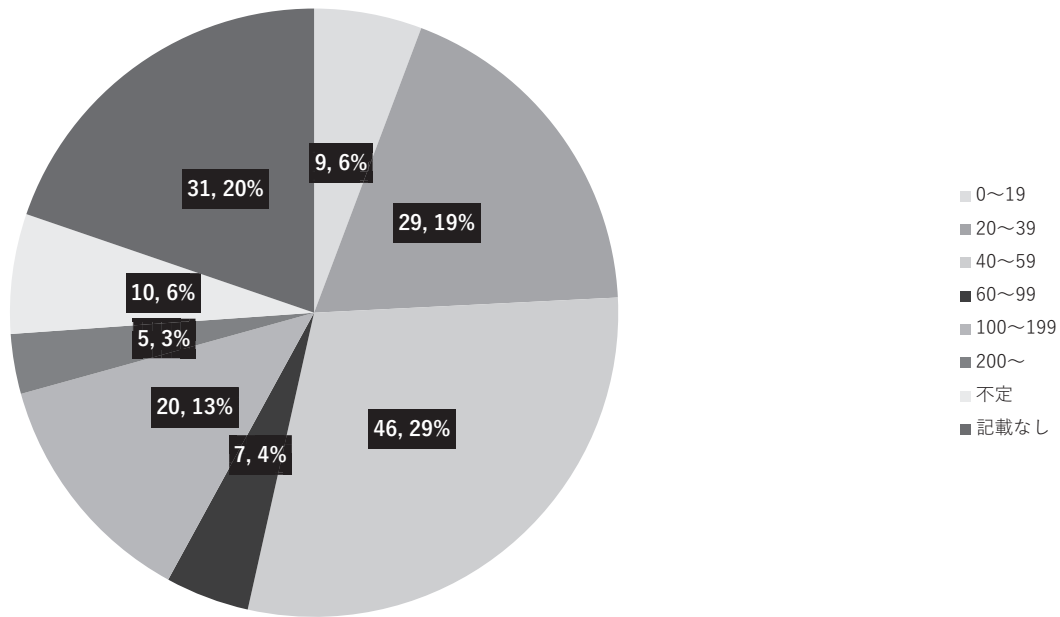


図3 研修期間中に経験する症例数

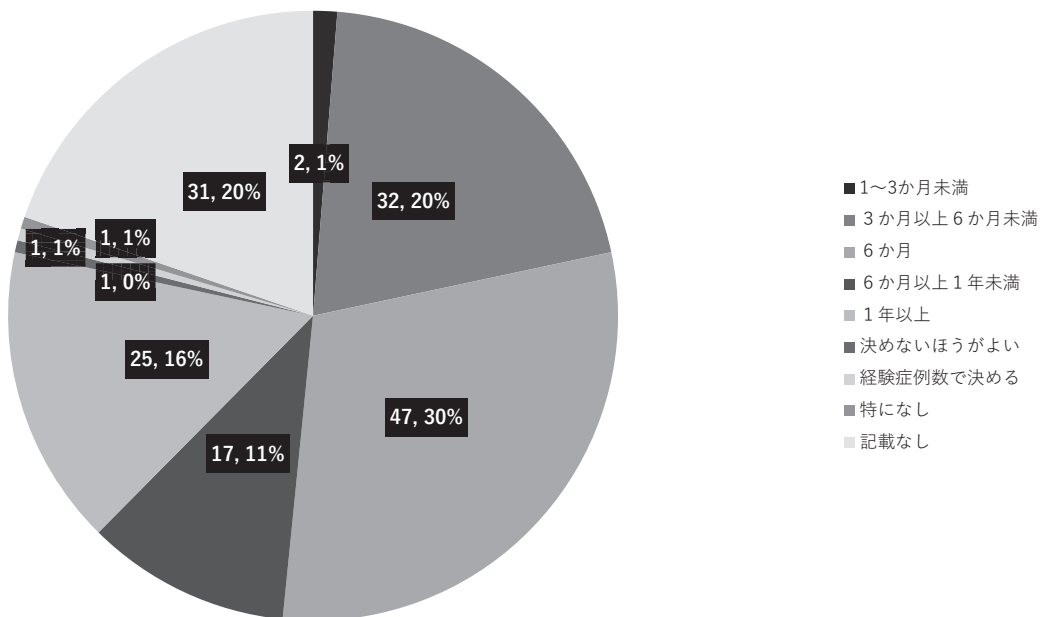


図4 望ましい研修期間

準化があるほうがよいと思われる。具体的には、望ましいNICU研修は6か月と回答した施設が多く、新生

児研修は原則的に6か月というのが妥当であると考えられた。